

たぐし

JFグループ兵庫



特集 ひょうご豊かな海づくり県民会議

CONTENTS

- 2 特集 ひょうご豊かな海づくり県民会議
～令和6年度活動実績／令和7年度活動計画～
- 4 輝く若手漁業者インタビュー 桂峻汰さん
- 6 東根壽氏旭日双光章を受章
令和7年度 兵庫県功労者表彰／新JF組合長のご紹介
2024年度のり共販終了
- 7 育波地先でイカナゴの飼育試験を実施／
明石市5漁協が栄養塩類供給の取り組みを実施中
- 8 ついに出版した、お魚図鑑 第2弾!!／大輪田塾だより
- 9 漁業就業支援フェアについて／ガザミふやそう会 会員募集
- 10 ようそろ／浜のイベントカレンダー
- 11 兵庫JCC通信／協同組合人養成講座の開催
- 12 SEATCLUB魚介レシピ

多様な主体による豊かな海づくり活動のネットワーク化を目的にスタートした本会議も、今年で3年目を迎えます。令和6年度は会員数が設立時の75団体から190団体まで増加し、「ひょうごブルーカーボンシンポジウム」をはじめとした、県内の様々な場での多様な主体による活動を後押しするとともに、大阪・関西万博など様々な機会を通じて、「豊かで美しいひょうごの海」の実現に向けた、我々の取組を広く発信してまいります。引き続き、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

主な令和6年度活動実績

1.ブルーカーボンシンポジウムの開催

2050年（令和32年）のカーボンニュートラルに向けて、ブルーカーボンをテーマに先進的な取組事例を共有し、本県でのブルーカーボンの取組拡大を考えるシンポジウムを開催しました。

開催日：令和6年6月25日（火）
場 所：県立兵庫津ミュージアム
参加者：会場・WEBあわせて約230名



推進大会の集合写真

2.ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催

団体、企業、学生等による豊かな海づくり活動の取組事例発表や、豊かな海づくりに関する展示など、会員や県民が広く参加する推進大会を開催しました。

開催日：令和6年10月19日（土）、20日（日）
場 所：県立明石公園千畳芝（明石市）
来場者：約14,000名

3.豊かな海づくり活動の更なる県民への広がり支援

兵庫運河の自然を再生するプロジェクトや生活協同組合コープこうべ第6地区など豊かな海づくり活動に取り組む団体に対し、補助金を交付し、豊かな海づくり活動への県民参加の機会を広げました。



豊かな海づくり活動の様子



4.豊かな海づくり啓発活動の実施

兵庫県漁業協同組合連合会が事務局を務めるひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会に委託し、県内の小中学校42校で出前おさかな講習会を開催したほか、漁業体験や豊かな海のPR活動を幅広く展開しました。

5.ふるさとひょうご寄附金の獲得

豊かな海づくり活動を円滑に実施できるよう寄附金等の獲得に努めました。企業版ふるさと納税による寄附は2者から合計23.3万円、個人版ふるさと納税は合計760万円を超える寄附をいただきました。また、（株）伊藤園様から県民会議に直接40万円の寄附がありました。ありがとうございました。



（株）伊藤園様からの寄付金受領

主な令和7年度活動計画

1.MOBA※との連携と大阪・関西万博での情報発信

大阪湾MOBAリンク構想の実現を目指して大阪府とともに設立（令和6年1月）したMOBAと連携して藻場づくりや情報発信を推進するとともに、これらの活動を大阪・関西万博の場で全世界に発信し、豊かで美しいひょうごの海づくりの機運醸成を図ります。



BLUE OCEAN DOME イメージ

- 出展予定**
- ①6月8日（日）ブルーオーシャンフェス（於、EXPOアリーナ「Matsuri」）
 - ②9月10日（水）大阪ヘルスケアパビリオン
 - ③9月26日（金）ブルーオーシャンドーム
- ※ 大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス
〈Members of the Osaka bay Blue carbon ecosystem Alliance〉



2.ひょうご豊かな海づくり推進大会の開催

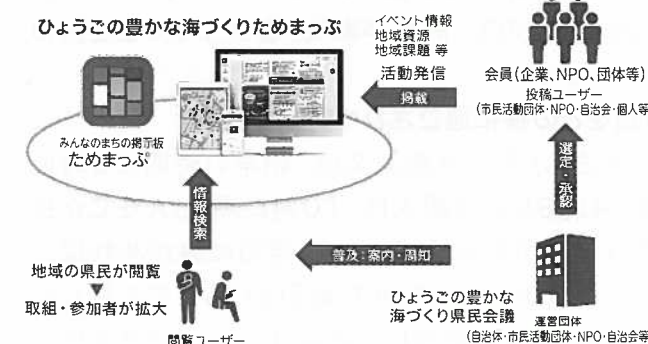
団体、企業、学生等による豊かな海づくり活動の取組事例発表、豊かな海づくりに関する展示など、大会のレガシーが色あせることがないよう会員や県民が広く参加する推進大会を開催します。兵庫県民農林漁業祭にブースを設ける形で開催します。

開催日：令和7年10月18日（土）、19日（日）
場 所：県立明石公園

3.豊かな海づくり啓発活動の実施

引き続きひょうご豊かな海発信プロジェクト協議会に委託し、県内の小中学で豊かな海の出前講習会及び調理実習等を実施するほか、豊かな海関連のイベントに出展し、パネル展示やパンフレットの配布によりひょうごの豊かな海づくりの普及啓発活動を実施します。

ためまっぷによる情報受発信のしくみ



4.広報活動

県民会議のロゴマークや全国豊かな海づくり大会兵庫大会テーマソング「いのちをつなぐ碧い海」を活用した広報活動を展開するとともに、引き続き、会員間の情報共有を促進し、豊かな海づくりに係る取組を発信します。さらに、県民会議や会員が取り組む豊かな海づくりに向けた活動やイベント情報を各団体が投稿し、一般県民の参加をより促すため、本県のスタートアップ企業が開発したアプリ「ためまっぷ」を導入します。

輝く 若手漁業者インタビュー

坊勢漁業協同組合 **桂 竣汰**さん



桂武彦さん(親方)

桂竣汰さん

今回は坊勢漁業協同組合の桂竣汰さんにお話を伺いました。
親方の桂武彦さんにも同席いただきました。

●自己紹介をお願いします。

(竣汰さん) 桂竣汰です。26歳です。姫路市家島町坊勢出身です。

●着業して何年目ですか？

(竣汰さん) 8年目になります。

●漁業種類について教えてください。

(竣汰さん) 底引き網漁業(4月～5月)、船びき網漁業(6月～12月)です。また、準備時期も含めて10月から長ければ4月までノリ養殖業(海上部隊)を手伝っています。

●漁師になろうと思ったきっかけは？

(竣汰さん) 家業が漁師なので身近に漁師という仕

事があり、幼い頃からなりたっていたと思っていました。

●漁師になることについて家族の反応はどうでしたか。

(竣汰さん) 母からは「島を出て働いたら」と反対されました。

(親方：武彦さん) 最終的には本人の判断に委ねました。

●漁師になろうと思ったきっかけから着業するまでの過程について教えてください。

(竣汰さん) 幼い頃から漁について行って「いいな」と思っていたので、高校卒業後、着業することを決めました。

●1日をどの様に過ごされていますか？

(竣汰さん) 船びき網漁業は、朝早い時期で3時に出港、4時30分に網入れ、10時に網上げ、そこから妻鹿漁港に魚を水揚げします。翌日に漁があれば、次はどこで漁をするのか午後3時ぐらいまで探しに行きます。翌日が休漁日の場合は、午後12時ぐらい

に帰港し、網が破れたりするなどのトラブルがなければ作業終了となります。

底引き網漁業は、朝早い時期で3時に出港、帰港はその日の漁によって変わります。漁が悪ければ早く帰港しますし、良ければ夕方ぐらいまで操業しています。

ノリ養殖業については、準備期間中は朝6時から午後3時頃まで作業し、生産時期に入れば昼頃に作業終了となります。

●出漁できる日は決まっていますか？

(竣汰さん) イカナゴ漁(船びき網漁業)は日曜日が休漁日、シラス漁(船びき網漁業)は水曜日と日曜日が休漁日です。底引き網漁業は火曜日と土曜日が休漁日です。

●休日はどうに過ごされていますか？

(竣汰さん) 本土の姫路方面に遊びに行きます。翌日が仕事の場合はその日に戻りますが、連休の時は姫路に宿泊したりすることもあります。

●実際に着業してみていかがですか？

(竣汰さん) これまで漁を手伝っていた時とは全然違いました。実際に着業すると体力的にも大変でしたし、指導面でも厳しかったです。

●そんな竣汰さんのことを親方の武彦さんはどう思っていましたか？

(親方：武彦さん) 一生勉強ですし、“継続は力なり”ということわざがあるように、努力を怠らず一生懸命に頑張ってもらいたいです。

●最近の水揚げや海の環境で何か思うことがありますか？

(竣汰さん) 最近でいうとイカナゴが全然いなくなっているのが不安です。シラスも毎年いい年ばかりではないですし、自然相手なので魚がいるのか不安な面があります。

(親方：武彦さん) 資源管理をしながら操業しているが、夏場の高水温、海の貧栄養化などの影響もあり、魚がどんどん減っている状況にある。将来的に再び、豊かな海に戻ってくれることを願っています。

●今後の抱負をお願いします。

(竣汰さん) 船びき網漁業ではイカナゴが全然いない状況なので、これを補完できる新たな漁業(シングルシードかき養殖、とり貝の養殖)に昨年からは挑戦しています。

●シングルシードかき養殖、とり貝の養殖は作業的には似ていますか？

(親方：武彦さん) 漁業種類的にはどちらも延縄方式で同じですが、貝の種類が違うので育て方や道具



桂竣汰さん



桂武彦さん(親方)

も違ってきます。生産時期については、シングルシードかきは三倍体マガキなので成熟していれば通年出荷可能です。とり貝については、秋に稚貝を入れて春先に出荷します。昨年からは坊勢地区の5グループと一緒に取り組んでいますが、始めたばかりなのでまだ手探り状態で前途多難です。昨年の反省点を踏まえ、今年は新たな展開をしていきたいと思っています。昔みたいに船びき網漁業が良ければいいのですが、今は船びき網漁業だけでは生活が安定しない。これを補完するためにちょっとでもプラスになればと思い新しい漁業にも挑戦しています。

●これから漁師を目指す方へのメッセージをお願いします。

(竣汰さん) 漁師という仕事はしんどいことも多いですが、魚が獲れたら嬉しいですし、やりがいのある仕事だと思うので、ちょっとでも興味があるなら一度チャレンジしてほしいと思っています。

●竣汰さんへのメッセージをお願いします。

(親方：武彦さん) 今は責任の低いポジションにいますが、これからは年相応の責任をもって行動できるように頑張ってもらいたいです。

●本日はありがとうございました。

東根 壽氏

(兵庫県漁業協同組合連合会 前副会長理事)

旭日双光章を受章されました

令和7年春の叙勲において、東根 壽氏が長年に亘り水産業の振興発展と漁業者の経営安定に多大なる貢献をされたほか、水産物の販売促進と魚食普及・食育活動に尽力されたこと等の功績により、旭日双光章の栄に浴されました。

伝達式は5月20日(火)に農林水産省講堂で執り行われ、同日、皇居にて天皇陛下に拝謁されました。

心よりお慶び申し上げますとともに、今後益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。



令和7年度 兵庫県功労者表彰

【農林水産功労】

兵庫県の発展に貢献した方を功労者としてたたえる「令和7年度兵庫県功労者表彰」の受賞者に、水産関係からJF東播磨 川崎 十九男 代表理事組合長、JF室津浦 漣 勝也 前代表理事組合長、JF福良 前田 若男 代表理事組合長の3名が選ばれました。心よりお慶び申し上げますとともに、今後益々のご健勝とご活躍を祈念いたします。



川崎 十九男氏

(JF東播磨代表理事組合長)



漣 勝也氏

(JF室津浦前代表理事組合長)



前田 若男氏

(JF福良代表理事組合長)

新JF組合長のご紹介

令和7年5月、新たにJF組合長に就任された方の御名前をご紹介します。

JF室津浦 代表理事組合長 沖 貴文氏

(令和7年5月2日就任)



2024年度のり共販終了

～兵庫県は3年連続日本一～

5月9日(金)開催の第14回乾のり入札会で、2024年度漁期のり共販を終了しました。

今漁期は、栄養塩に恵まれただけでなく、原藻の伸びが非常に良い年でした。また、高値で推移したことにより、兵庫県全域で終盤まで生産を続けることができ、予想をはるかに上回る生産量となりました。

本県の共販実績は、枚数18億9,772万枚(昨年比6億6,387万枚増)、金額433億5,544万円(昨年比173億3,161万円増)、平均単価22円85銭となり、3年連続で共販枚数・共販金額ともに日本一となりました。

2024年度乾のり共販結果

	共販年度	共販枚数	共販金額	平均単価
全国	2024年	59億4,978万枚	1,435億8,483万円	24円13銭
	2023年	49億3,626万枚	1,043億6,521万円	21円14銭
	2022年	48億4,252万枚	834億9,316万円	17円24銭
本県	2024年	18億9,772万枚	433億5,544万円	22円85銭
	2023年	12億3,385万枚	260億2,383万円	21円09銭
	2022年	12億8,224万枚	221億5,361万円	17円25銭

育波地先でイカナゴの飼育試験を実施

～イカナゴ資源の新たな回復方法を模索～

JF兵庫漁連と兵庫県水産振興基金が連携し、JF育波浦の協力のもと海上の囲い網でイカナゴの飼育試験を行いました。

5月9日に育波浦で捕獲した試験用イカナゴ10数尾に、愛媛県の餌業者から購入した7,000尾を13日に追加して29日まで飼育した結果、肥満度は約3割向上したものの大部分が消失しました。前日まで一定数の生体が目視で確認できており、消失の原因は現在不明です。

また、ひょうご豊かな海づくり協会と神戸市立栽培漁業センターの陸上水槽でも飼育試験が行われています。



囲い網と自動給餌機

2017年にイカナゴ資源が急減して以来、漁期短縮や豊かな海の再生等の様々な取り組みを行ってきたにもかかわらず資源の回復には至らず、令和7年漁期も不漁が予測されたことから、関係漁協、JF兵庫漁連、県水産漁港課・水産技術センター、ひょうご豊かな海づくり協会、兵庫県水産振興基金等の関係者で議論を重ね、夏眠前のイカナゴの肥満度向上を目指して、まず飼育試験をこの度実施しました。

今回の結果も踏まえ、3年程度試験を継続しながら、イカナゴ資源の新たな回復方法を模索していく予定です。



網中のイカナゴの様子(5月16日)

明石市5漁協が栄養塩類供給の取り組みを実施中

JF明石浦・林崎・江井ヶ島・東二見・西二見は連携して、発酵鶏糞肥料などを海底に投入する施肥に取り組んでいます。今年度は水産多面的機能発揮対策事業と豊かな海づくり再生事業(明石市単独事業)を活用し、夏場を除く9か月間に計790tの肥料を投入する予定です。

5月20日にはJF明石浦の役職員6名で10tの発酵鶏糞肥料を明石市地先に投入しました。戎本組合長は「施肥の取り組みが水揚げの増加に繋がることを期待している」と話しました。

兵庫県下では、明石市の他9市町17活動組織でも施肥が行われる予定です。これら漁業者による取り組みの成果が1日も早く現れることを願います。



肥料の積込状況



肥料の投入状況(5月20日)

ついに出版した、お魚図鑑 第2弾!!

兵庫県農林水産部水産漁港課 漁業経営班

日本海と瀬戸内海、2つの海に面した兵庫県では、四季折々、さまざまな特徴をもった海域から、とても美味しい魚介類が水揚げされます。

令和7年3月、とれとれぴちぴちの若手水産職員が協力して作り上げた2冊（但馬と瀬戸内海）のお魚図鑑。各浜ならではのお魚たちが紹介されており、それぞれの旬や美味しい食べ方・料理方法、どんな獲り方で消費者に届くのか、など、あなたの知りたい情報が満載です。

それではコチラから、
但馬の海へ↓



コチラからは、
瀬戸内海へ↓



とはいえ、魚の種類は多種多様なので、紹介できる魚はほんの一部にすぎません。

今後も内容の充実を図っていきたいと考えていますので、図鑑の内容を隅から隅まで熟読いただき、「私にとっての旬はちょっとちがうな」とか「この魚なら刺身一択やわ」といった、ご意見をお寄せください。また、知り合いの方にもぜひ紹介していただければ幸いです。

これからも美味しいお魚図鑑をよろしくお願いします。

漁師の仕事!まるごとイベント 漁業就業支援フェア2025 について

JF兵庫漁連 指導部

漁師になりたい方や漁業に興味のある方が、全国の沿岸漁業から遠洋漁業の漁師、漁業会社、漁協担当者や「漁師の仕事」「地域での生活」など直接話ができる「漁業就業支援フェア」が毎年（一社）全国漁業就業支援センター主催で開催されています。

JF兵庫漁連は2023年7月以降、計4回フェアに出展し、延べ52名の就業希望者の相談を受けて漁協等へ紹介・斡旋し、そのうち4名が実際に県内漁業へ就業しました。

また、来る7月26日には「漁業就業支援フェア2025大阪会場」が開催され、JF兵庫漁連も出展を予定しています。

働き手不足や後継者不足などでお困りの漁業関係者の皆様で、求人情報の提供や会場で説明の希望などありましたら、指導部まで事前にご連絡ください。



【お問い合わせ】
JF兵庫漁連 指導部 TEL:078-940-8013

大輪田塾だより

漁業者が知っておきたい「魚ビジネス」の概要とトレンド

4月15日(火)、株式会社 さかなプロダクション 代表取締役 ながさき一生(いっき)氏をお招きして講義が開催され、塾生8名が受講しました。

ながさき一生氏は、「魚のコンテンツを通じて世の中を良くするため、広く、深く、ゆるく、そして仲良く」をコンセプトに講義を進められました。

寿司と刺身に求められる鮮度の違いや、養殖と天然の特性、鮮度を維持する魚の締め方、凍結方法、ふるさと納税のメリットなどの説明や、魚の肉の細胞を培養して形成した培

養魚肉など未来の可能性まで、幅広い視点から水産業について語られました。

その後のディスカッションでは、「なにを・どうやって・だれに」をテーマに、どのようにすれば水産関係(魚食、体験型漁業等)を消費者へ効率よく宣伝できるのか、講師と塾生、塾生同士で活発な意見交換がなされました。多角的な視点から議論が交わされ、塾生にとって視野が広がる大変有意義な講義となりました。



講義の様子



ながさき 一生 氏

ガザミふやそう会 会員募集!!

ガザミふやそう会

「ガザミふやそう会」は、昭和61年にガザミ資源の維持増大を図ることを目的に設立され、今年で39年目の活動となります。県内漁業者会費により、抱卵ガザミを買い上げて再放流をしています。また、JF、系統団体のほか、一般市民や他県の水産関係者からの一般会費によって、ポスターの作成をはじめとする啓蒙普及活動をさせていただき、漁業者と共にガザミ資源の維持に積極的に取り組んでいます。

今年も同会の会員募集を開始しましたので主旨にご賛同の上、ご加入お願い致します。

同会は抱卵ガザミのほか、期間・時期を問わず、①甲幅長12センチ以下のガザミ、②脱皮直後の柔らか甲羅ガザミの再放流も行っています。

※抱卵ガザミの保護期間は毎年5月1日～9月30日までで、対象海域は大阪湾・播磨灘としています。

【事務局】
〒673-0883
明石市中崎1丁目2番3号 兵庫県水産会館内
JF兵庫漁連 指導部 ガザミふやそう会事務局
TEL:078-940-8013 FAX:078-917-3811

会費・入会に関して

- ・会費は1,000円/年です。
- ・会員の証として、オリジナルQUOカード(500円分)をお渡ししています。
- ・詳しくはJF兵庫漁連ホームページをご覧ください。



一歩ずつ、地域とつながる

兵庫県農林水産部水産漁港課 主事 宮本 大夢



ハーフマラソン1時間41分

はじめまして。兵庫県水産漁港課の宮本大夢と申します。大阪出身で、県庁への入庁を機に兵庫県での生活を始めました。大学では魚の遺伝子に関する研究に取り組み、現在は水産業関連施設への補助に関する業務に携わっています。

仕事や暮らしを通じて新たな経験を重ねる毎日ですが、新天地での生活が少し落ち着いた頃、自分の時間の過ごし方にも目を向けるようになりました。新しい環境で、自分らしくリフレッシュできることを探中で出会ったのがランニングです。今回は自己紹介も兼ねて、そのきっかけと魅力についてお話ししたいと思います。

当時はちょうどコロナ禍の真ただ中。マスクを外して外出することすら躊躇われるような状況の中、私はマスクを着けたまま近所を走ることからスタートしました。最初は息苦しさもあり大変でしたが、結果的に肺活量が鍛えられ、初めて出場したマラソン大会では思いがけず良い成績を収めることができました。

それを機に本格的にランニングに取り組むようになり、今年3月には念願だったフルマラソンにも挑戦。姫路城マラソンで、沿道からの地元の方々の温かい声援に背中を押されながら完走できた感動は、今でも鮮明に覚えています。

ランニングの魅力は、体力の向上や気分転換になるだけでなく、兵庫県内の様々な地域を訪れるきっかけにもなっていることです。これまでに香美町や宝塚市など、県内各地の大会に参加してきました。大会ごとにその土地の自然の美しさや人々の温かさに触れ、大阪出身の私にとっては、兵庫県を深く知る「旅」のような体験となっています。

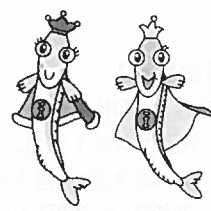
忙しい毎日の中でも、ほんの少しの時間を見つけて走ることで、自分自身と向き合うことができます。景色が変わることで気分も前向きになり、また明日から頑張ろうと思えるのです。

もし「何か新しいことを始めてみたい」と思っている方がいれば、ぜひランニングを選んでみてください。きっと、新しい発見や出会いが待っているはずです。

浜のイベントカレンダー

開催日時	イベント名	開催場所	主催者
毎週土曜日 13:30~	土曜市	垂水漁港荷捌所	JF神戸市
6月14日(土) 10:00~	海町マーケット	但馬漁業協同組合 竹野支所	JF但馬 竹野支所
6月18日(水) 13:30~	漁業デー	垂水漁港荷捌所	JF神戸市
6月28日(土) 10:00~	朝市	淡路島タコステ内	JF淡路島岩屋 広報部
6月29日(日) 10:00~	兵庫漁業販売会	兵庫漁業協同組合	JF兵庫
7月2日(水) 13:30~	漁業デー	垂水漁港荷捌所	JF神戸市
7月5日(土) 10:00~	魚のつかみどり体験	道の駅 みつ	たつの市

浜の賑わいづくりにご活用下さい。
掲載希望の団体様は兵庫県水産振興基金まで。皆様からのご連絡をお待ちしています。



JA兵庫六甲 こうべ旬菜部会

「先進的な取り組みで人と環境に配慮した農業を実現する」

本企画は、兵庫県を拠点に活動する生産組織にスポットを当て、設立に至った経緯や注力している取り組み、メンバーの意気込み等を紹介します！

Q1.部会の成り立ちを教えてください！

当部会は、栽培品目別の13部会をまとめる形で平成12年に設立されました。人口100万人越えの政令指定都市の中では、全国で最も大きな農業産出額を誇ります。

Q2.部会員数や方針について教えてください

部会には、269名が所属しており、若手生産者が多いことが特徴です。人と環境に配慮した農業を実現するため、化学肥料や化学合成農薬の使用を低減し、出荷先を神戸市内に限定することによって、輸送で発生するCO2の排出量削減に取り組んでいます。

Q3.「こうべ旬菜」ブランドについて教えてください！

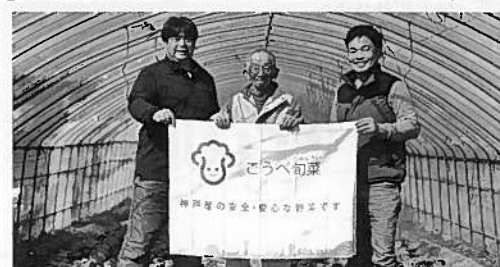
化学肥料・農薬の使用量を減らした栽培方法を積極的に取り入れ、地域の環境に配慮した農業に取り組んでいます。こうべ旬菜の野菜を採取する市内の量販店数は15軒に上り、市民にとって身近なブランドになってきています。

Q4.取組みについて教えてください！

出荷には使い捨ての段ボールではなく、壊れるまで繰り返し使用可能なプラスチック製の「通いコンテナ」を使用しています。また、下水処理場に溜まった汚泥から農産物の生産に欠かせない原料であるリンを取り出し、肥料として再利用された「こうべハーベスト肥料」の研究開発や実証実験に全面協力しています。

Q5.第53回日本農業賞「特別賞」を受賞した感想と今後の目標について教えてください！

名誉ある賞をいただき、部会員一同大変嬉しく思っています。私たちの取組みや「こうべ旬菜」の名を広く知ってもらえることができました。今後も、先進的な取組みを継続し、人と環境に配慮した農業を追い求めていきたいと思っています。



<https://ja-grp-hyogo.or.jp/>

能登半島地震被災地の仮設住宅を訪問しました

5月3～5日に、能登半島地震で甚大な被害を受けた石川県輪島市の仮設住宅等を訪問し、タコ焼きをふるまうサロン活動を行いました。これは近畿地区の生協府県連協議会が呼びかけ、兵庫県生協連からの2名含め、17名が参加しました。

能登半島の北端部へのアクセスは1年前と変わらず、県道は仮補修のまま凹凸が激しく、さらに輪島市の山村集落の周辺は昨年9月の豪雨災害による大規模な山崩れなどが残っていました。農作地ではため池や河川が崩れて水が引けないため、今年も稲作ができない状況が多くみられました。市街地では住宅が取り壊されて更地になっているところと、未だ震災時のまま倒壊状態にあるところが混在しており、また、被害が大きい地域の住民は仮設住宅に引っ越しており、日常的な買い物の不自由さや生活復興に時間を要している様子を感じられました。生協・協同組合同士のつながりを発揮して、今後も被災地復興に向けた活動を考えていきたいと思っています。



<https://www.coop-hyogo-union.or.jp/>

協同組合人養成講座 6月講座 6月18日(水)のご案内

開催時間	講座名	講義団体の名称
13:30~	はじめての個人情報保護法	個人情報保護委員会 (講師未定・WEB講演)
15:00~	明石市における 栄養塩管理運転の取組について	明石市上下水道局下水道室 下水道施設課 水質管理係 技術職員 増田晴樹氏

JF兵庫漁連

講座はWEB受講も可能ですので、多数の方々の参加をお待ちしております。また、会館での参加者による情報交換会では、簡単な食事と飲物を交えての職員間のコミュニケーションが図れますので、会館での受講にも参加下さい。



保存版

今が旬の魚介で作る！

簡単!! 魚介レシピ



シラスとアボカドの 海苔巻き天ぷら



【材料】（作りやすい分量）

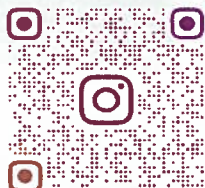
釜揚げシラス	： 40g
アボカド	： 1個
焼き海苔	： 板海苔 1枚
揚げ油	： 適量
A) わさび	： 好みの量
A) しょうゆ	： 小さじ1
A) 酢	： 小さじ1/2
B) 小麦粉	： 30g
B) 水	： 60g

【作り方】

- ① アボカドは、種を取り実をスプーンでかき出し、
A) の調味料を混ぜあわせる。
B) は、合わせておく。
- ② 焼き海苔を 1/4 に切り、海苔の上に ①のアボカドを広げる。
- ③ 釜揚げシラスも同じように広げる。
- ④ 手前からくるくると巻く。
- ⑤ 油を 160℃に熱し、B) の衣にくぐらせた ④を揚げる。
- ⑥ お好みで塩をつけていただく。



HP



Instagram

ひょうごのお魚ファンクラブ

SEAT CLUB



表紙の言葉



坊勢漁業協同組合 桂 竣汰さん

JF坊勢で底引き網漁と船びき網漁に従事されている桂 竣汰さんにお話を伺いました。イカナゴ漁が振るわない中、補完できる新たな漁業（シングルシードかき養殖、とり貝養殖）に挑戦する姿がとても印象的でした。

発行：一般財団法人 兵庫県水産振興基金

〒673-0883 明石市中崎1丁目2番3号 兵庫県水産会館2F TEL 078-919-1331 FAX 078-919-1336